

峡北消防本部消防署所適正配置計画 ～北杜市内の消防署所再編について～



新北杜消防署（基幹消防署）基本設計イメージ図



葦崎消防署（基幹消防署）

峡北広域行政事務組合

1. 消防体制の現状と課題

● 消防庁舎の老朽化、未耐震化への対策

- ・北杜市内の1署4分署（北杜消防署、須玉分署、白州分署、高根分署、小淵沢分署）は建築後50年余りが経過し、老朽化が進んでいる。
- ・建築基準法に基づく昭和56年の新耐震基準の施行以前の建物である。

大規模地震災害時の地域の防災拠点として十分な役割が果たせるよう、庁舎の耐震化など速やかな庁舎整備が必要である。

● 署所集約による消防力の強化

- ・消防車や救急車等は国の指針（基準）よりも少ない人員で乗換運用している現状である。
- ・火災と救急への同時対応や、多くの部隊を要する災害に対応することが困難となっている。

分散している消防力を集約し、初動を充実させ、消防力の強化を図ることが必要である。

● 消防力の維持と効率的な運用に向けた対応

- ・人口減少や高齢化等近年の社会情勢の変化により、今後の消防行政はますます厳しくなることが予想される。
- ・警防、予防業務の複雑多様化、救急業務の高度化、大規模災害への的確な対応等、役割は年々大きくなっている。

厳しい財政状況下にあつて、限られた人員と消防資機材を有効活用した消防力の維持と効率化を進めることが必要である。

2. 消防署所配置の検討経緯

平成30年度	北杜市内の5署所を3署所に再編する「峡北消防本部消防署所再編整備計画（案）」を作成する。
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・峡北広域行政事務組合消防本部消防力適正配置検討委員会において「整備計画（案）」を審議した結果、同委員会から令和元年11月に「釜無川エリアに署所を配置する必要があること、北杜市内の署所は現状の5署所から4署所へ再編することが適当である。」との提言がされた。 ・耐震性に課題のある北杜消防署を建替えるにあたり、令和2年度までとされた「緊急防災・減災事業債」を活用して、現在地に建替えを行うことで決定した。
令和2年度	・新たに整備される北杜消防署を基幹消防署として再検討を行い、「峡北消防本部消防署所適正配置計画（案）～北杜市内の消防署所再編について～」を作成する。

3. 地域の現状と災害の発生状況

● 人口、世帯数、中高層建物数、危険物施設数

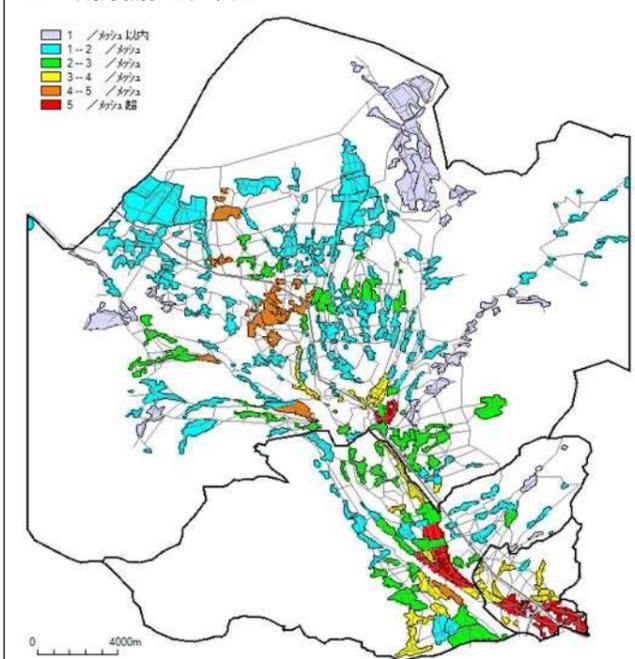
管轄区域	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数	中高層建築物	危険物施設数
葦崎市	143.69	29,124	12,652	190	95
北杜市	602.48	46,421	21,421	256	204
甲斐市 (旧双葉町)	18.86	16,573	6,945	70	29
計	765.03	92,118	41,018	516	328

(令和2年4月1日現在)

● 火災・救急・救助事案の発生件数及び消防需要指標値

管轄区域	火災事案 2015 - 2019年	救急事案 2017 - 2019年	救助事案 2015 - 2019年	消防需要 指標値
葦崎市	76	4,014	103	27,839
北杜市	210	7,232	203	60,848
甲斐市 (旧双葉町)	29	1,796	42	11,313
高速道路	7	144	11	-
計	322	13,186	359	100,000

■ 消防需要分布図



4. 適正配置計画の検討

(1) 適正配置へ向けた条件

- ① 北杜市内の5署所（1署4分署）を4署所（1署3分署）とする。
- ② 北杜消防署を韮崎消防署と同規模に整備し、基幹消防署とした分署の配置とする。
- ③ 地理的条件（八ヶ岳エリア・塩川エリア・釜無川エリア）を踏まえた分署の配置とする。
- ④ 署所再編による消防サービスの平準化を図り、消防力の維持に努める。

(2) 消防署所の配置計画

① 北杜消防署の位置（基幹消防署）

北杜消防署は現在地とし、北杜市内の消防署所の基幹消防署とすることで、消防力を集約し、初動の充実と消防力の強化を図る。

② 統合する分署と位置

白州分署と小淵沢分署を統合し、両分署の中間地点に近い国道20号沿いへ配置する。分署を統合する小淵沢町は、北杜消防署と統合分署のカバーエリアとする。

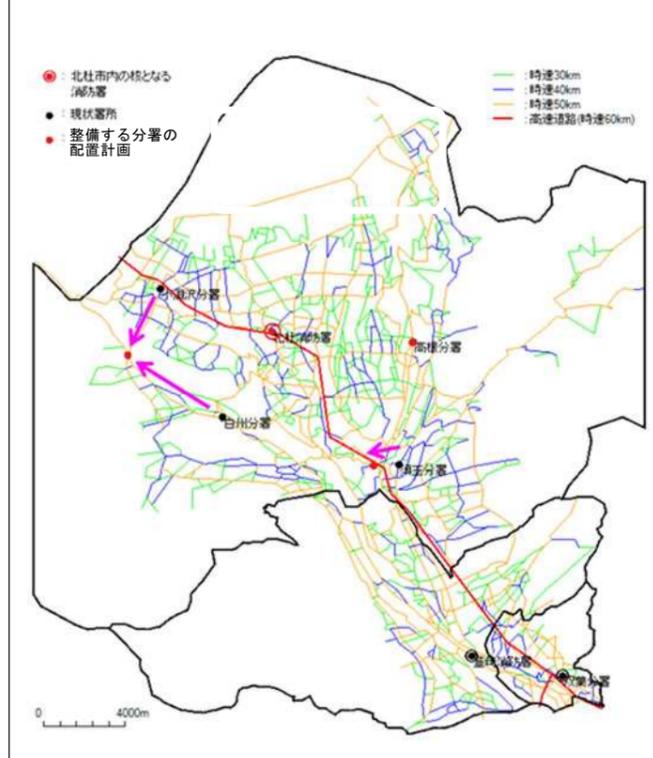
③ 須玉分署の位置

白州分署は統合分署として北側へ移転するため、武川町の消防サービスの低下が見込まれることから、須玉分署の位置を国道141号沿いへ移転し、武川町への運用効果を高める。

④ 高根分署の位置

北杜市北東部の消防需要に対応するため、高根分署は現在地周辺での建替え・移転とする。

■ 北杜市内の分署の配置計画

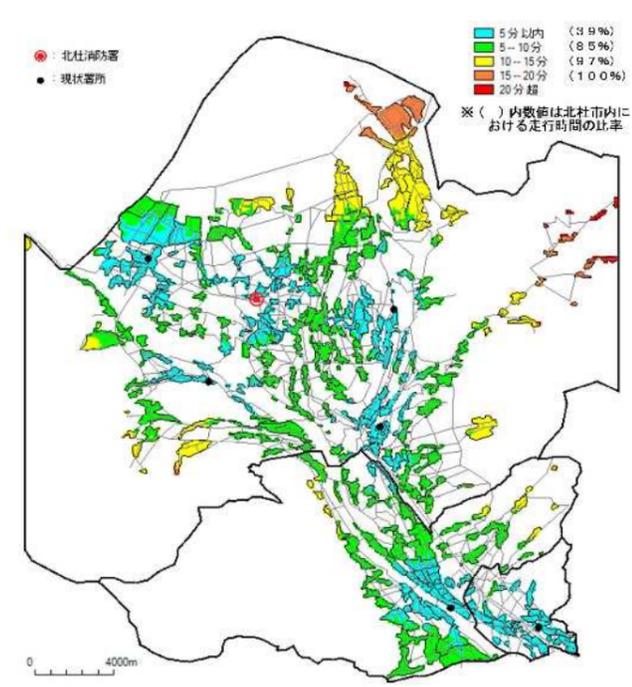


消防力の強化

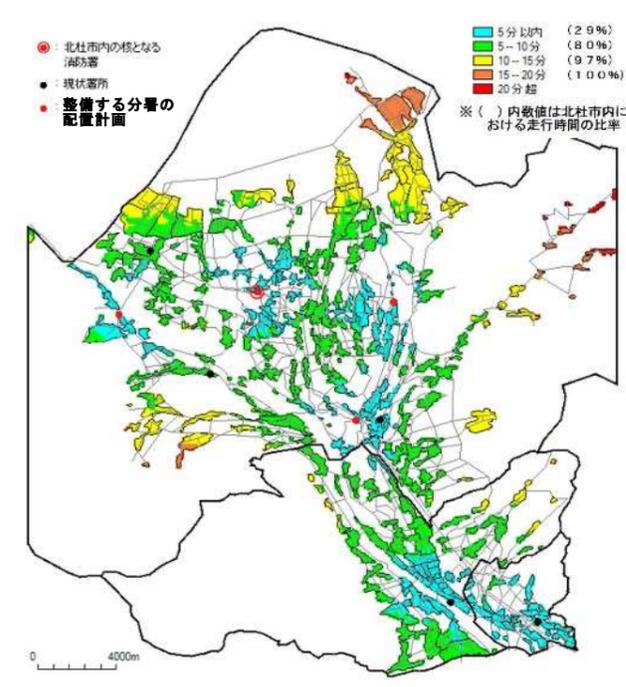
- 署所再編による消防サービスの平準化
- 消防力の維持と効率化
- 消防力の集約
- 初動体制の充実

5. 消防署所再編による運用効果（消防車両走行時間分布）

■ 現状署所位置による消防車両走行時間分布



■ 配置計画による消防車両走行時間分布

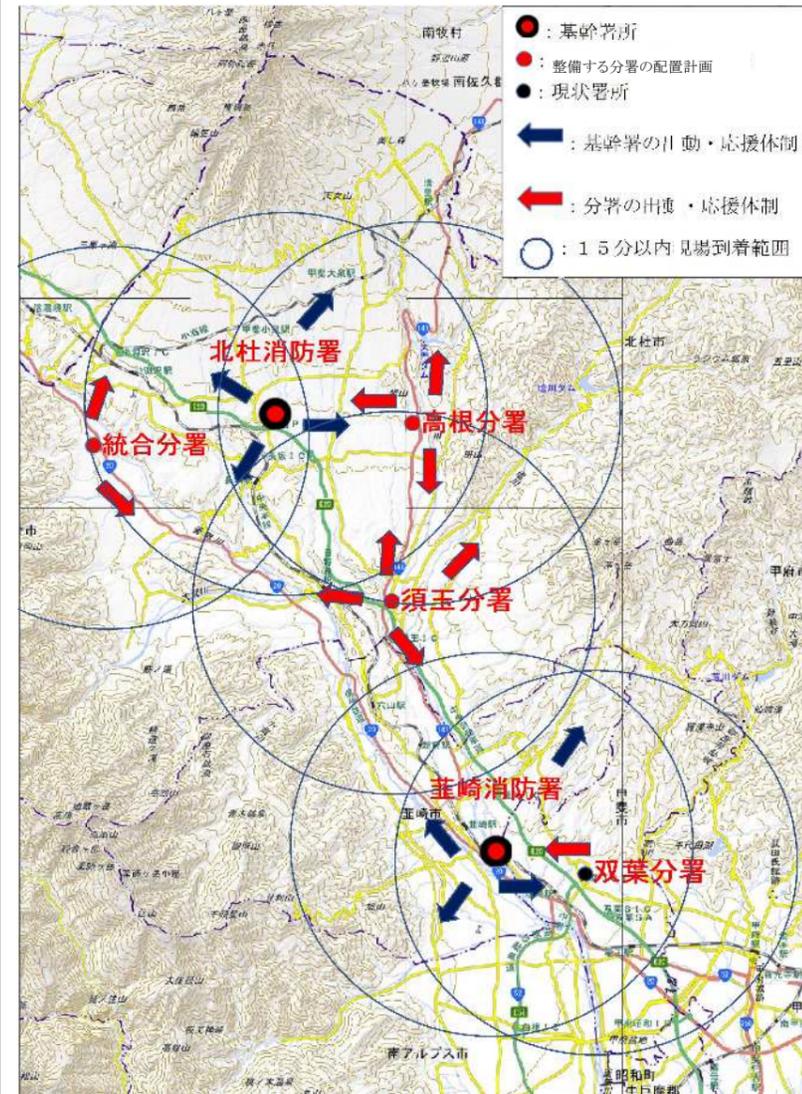


6. 署所再編による効果と課題への対応策

— 署所再編による効果 —

- ▶ 基幹消防署を核とした消防力の強化 ⇒ 南部の韮崎消防署、北部の北杜消防署を基幹消防署とした峡北消防本部管内の体制強化が図れる。
- ▶ 新「北杜消防署」の強化 ⇒ 出動可能部隊を増強することにより、初動体制の強化が図れる。
- ▶ 北杜市内の消防サービスの平準化 ⇒ 基幹消防署である北杜消防署を中心に、配置する3つの分署により、北杜市内の消防サービスの平準化が図れる。
- ▶ 消防需要への対応強化 ⇒ ・高度化する救急業務への対応強化が図れる。
・様々な災害への対応力の強化が図れる。

■ 適正配置計画による出動・応援体制図



※地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) に署所位置等を追記して作成

— 小淵沢町の消防需要への対応 —

- ▶ 基幹消防署である北杜消防署と統合分署からの出動を併用し、車両動態位置管理システムによる直近選別と、道路状況（冬季の道路状況等）に応じたエリアカバーを実施する。
- ▶ 北杜消防署からの出動強化を図る。
- ▶ 北杜消防署に隣接する高速道路入口を活用し、現場到着時間の短縮を図る。
- ▶ ドクターヘリを活用した救急サービスの積極的な活用を図る。

— 武川町の消防需要への対応 —

- ▶ 須玉分署を国道141号線沿いへ移転することで、現場到着時間を改善し、運用効果の向上を図る。
- ▶ 統合分署、須玉分署及び基幹消防署である北杜消防署のカバーエリアとし、消防サービスの低下を軽減する。
- ▶ 車両動態位置管理システムで直近選別することにより、効率的な出動を図る。

— 中央自動車道への救急対応 —

- ▶ 中央自動車道（高速道路）の救急事案に対しては、韮崎消防署及び北杜消防署から、救急自動車と救助工作車が出動する体制をとっている。
- ▶ 北杜消防署の機能強化により、高速道路上の事案に対しても強化が図れる。

7. スケジュール案

年度	北杜消防署	統合分署	須玉分署	高根分署
令和3年度	新庁舎完成	計画	計画	計画
令和4年度	—	用地取得・設計	用地取得・設計	—
令和5年度	—	建設・移転	建設・移転	用地取得・設計
令和6年度	—	—	—	建設・移転